

図書館便り

《「図」「書」の館》から《「書」を「図る」館》へ

図書館長 今田 浩之（一般教養）

《「図」と「書」の館（やかた）》。ずしょかん。明治の日本で、図書館は、そう呼ばれていたそうです。振り返れば、本校の図書館にも、以前、「地図」の棚があり、国土地理図等を閲覧できたように記憶しています。（一般には、「図」の類として、図面・図版等も収蔵されます。）

現在、学生の皆さんは、図書館で、本棚いっぱい並ぶ、書籍としての「図書」をご覧になりますね。もっとも、それらは、ただ単に「並んでいる」ではありません。皆さんの多様なニーズにお応えできるよう「並べられて」います。

《「書」を「図る」館》。図書館では、専門書から一般書までの多数の図書を、そもそも日本十進分類法という基準で図って配置しています。更に、何年もかけて、「学習支援」「資格試験」「キャリア」「人権・学生相談」「留学」「英語多読」等の特別な本棚作りの工夫を重ね、今年度も、「新書コーナー」の新設や「学習支援図書コーナー」の全面再編を図りました。様々なテーマでの企画展示も、次々と図られています。毎月の教室掲示『図書館からのお知らせ』を見逃さないでください。

今年度4月からの学習閲覧室でのアクティブ・ラーニングの延長で、主体的に必要と考える図書を「投書箱」へ提案して、図書館の「書の図りごと」に、是非参加してください。

皆さんのお一人でも多くが、一回でも多く来館されることを願っております。

教員推薦図書

各コース等の先生方に、お薦めの図書を紹介していただきました。ここで紹介している図書は、図書館に所蔵していますので、ぜひ手にとってみてください。

【一般教養】 中島 一

人体600万年史 科学が明かす進化・健康・疾病
〈上〉〈下〉 ダニエル・E・リーバーマン 著/塩原通緒 訳

「現代の病のほとんどは、進化と文化のミスマッチである。」
急激な文化の発展に対して人類の進化が追いついていないことが、あらゆる心身の不調の原因であることを人体600万年の歴史から紐解いていく。

人類の生物学的目的は種の保存であり、人体は健康的あるいは文化的に生きるためにはできていない。現代の食事や生活様式のほぼ全てが人体にとって悪影響を与えるものばかりであり、それによって糖尿病や心臓疾患、虫歯等々が発生していることが理解できる。また、人口密度や公衆衛生と感染症のリスクについても触れられており、現在一般的に言われる健康法が如何に的外れなものであるかわかる。

特に食事に関しては、ここ数千年で生み出された砂糖・米・小麦等々が如何に有害であるかがよくわかり、私のダイエット成功の秘訣はこの2冊を読んだことにある。

「進化は健康になど一向に関心はない。」

【電気コース】 生田 智 敬

電気革命 モールス、ファラデー、チューリング
デイヴィッド・ボダニス 著/吉田三知世 訳

現在、電気やそれにまつわる技術は、人の生活に無くてはならないものとなっています。それを支える技術は、多くの研究者や技術者たちの歴史的な発明によって築かれてきたものです。これらの発明は、一朝一夕で生まれるものではなく、その裏側には、様々なエピソードが存在しています。最近では、映画「イミテーション・ゲーム」でアラン・チューリングの半生が描かれる等、研究者や技術者の人間性や生き様にも焦点が当てられるようになってきています。本書は、電気に関する偉大な発明家たちの研究開発にまつわるエピソードを中心に構成されています。エジソン、モールスといったどこかで必ず聞いたことのある研究者が登場し、開発秘話や人間性、時代背景を織り交ぜながらわかりやすくエピソードが紹介されています。電気に関する科学史や知識としても、単なる読み物としてもおもしろく、おすすめできる一冊となっています。

【建設コース】 笹田 修 司

熊本地震体験記
震度7とはどういう地震なのか？ 井芹昌信 著

本書は本年4月の熊本地震体験記です。皆さんの中で、実際に大地震の被災経験者は殆ど居ないと思います。しかし、今後、誰しも大地震の被災者になる可能性はあるのです。被災状況は人それぞれ異なり、本書の内容も著者の体験にしか過ぎません。しかも著者は株式会社インプレスR&D代表取締役社長であり、地震防災の専門家でもありません。しかし、さすがは編集者を生業とされる方の著書であり、自身で取材を行いながら大地震発生後の状況をわかりやすく記されています。大地震発生直後の被害を出来るだけ少なくするには、自分の身は自分で守る「自助」、そして地域や身近に居る人どうしが助けあう「共助」に基づいた行動が必要です。そのために必要な知識を得ておくために一読しておくことを薦めます。また、本書は電子書籍とプリント・オン・デマンド（POD）による印刷書籍として出版されており、現時点のPOD書籍の実物として見るのも面白いです。

【機械コース】 松浦 史 法

日本版インダストリー 4.0の教科書
IoT時代のモノづくり戦略 山田 太郎 著

蒸気機関、発電機そして自動制御ロボットと、第三次産業革命までは新しいハードウェアの登場により産業のあり方が変わってきました。1980年代に、あらゆるものにコンピュータが搭載され環境に溶け込んでいく「ユビキタス」の概念が生まれて以来、コンピュータは私達の社会にすっかり浸透し、ソフトウェアが製造業や機械産業を支配する立場になりました。このような中、2010年代にはアメリカとドイツが第四次産業革命を主導しようと国家をあげて取り組み始めました。当初は現場改善を目的としていましたが、やがて世界標準を握る、まさに産業革命を起こす戦いに発展しています。本書は、失われた20年に日本が陥った失策の分析や、製造業でインダストリー 4.0をどう取り入れるかなどを、著者の取材や産業史から紐解きます。日本で仕事をしようと考えている学生にぜひ読んでほしい本です。

【情報コース】 太田 健 吾

いずれ老いていく僕たちを100年
活躍させるための先端VRガイド 廣瀬通孝 著

ソニーの「PlayStation VR」やNiantic社の「Pokémon GO」に代表されるように、仮想現実（Virtual Reality; VR）や拡張現実（Augmented Reality; AR）の技術が身近になってきました。エンターテインメントの分野に限らず、たとえば、実際に体験して訓練することが困難な内視鏡手術や発電所の廃炉作業をVRで訓練できるシステムが開発されています。また、遠く離れた友人が今そこにいるかのように現実感を持って会話することのできる「テレプレゼンス」の研究がさまざまな研究機関で進められています。

そもそも私たちの感じる「現実感」とは何でしょうか？ いわゆる「二次元」のキャラクターと実際に触れ合うことを夢見た経験のある方もいるかもしれませんが、私たちが人の存在を認識するためには「声+におい」や「見た目+触感」といったように2つ以上の感覚で同時に感じる必要があるのだそうです。このような私たちの「現実感」をコンピュータで制御できるようになったとき、何が起ころうでしょうか？

本書は、こうしたVRの分野で先駆的な研究を続けてきた著者が、これから訪れる超高齢社会をVRで支えるという未来の社会のビジョンを示した意欲的な一冊です。

【化学コース】 大谷 卓

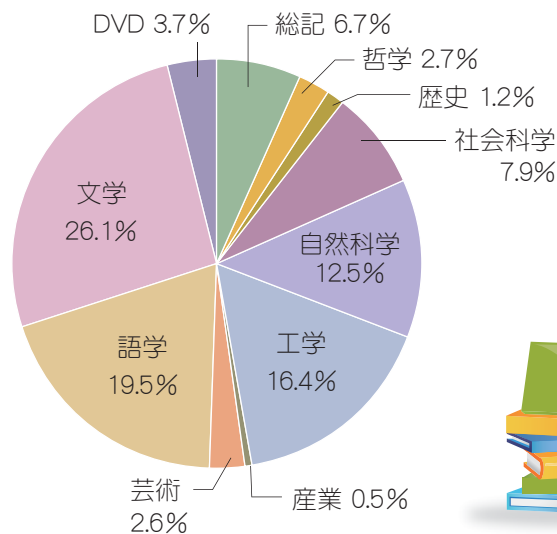
炭素文明論
「元素の王者」が歴史を動かす 佐藤健太郎 著

デンプンやエタノール、カフェインなど身近な炭素化合物に焦点を当てて書かれた本である。人間がそれらをどのよう利用してきたかというありふれた視点だけでなく、炭素化合物が人間社会をどう動かしてきたかという分子を通して見た人類の歴史が記されているのが本書の特徴だ。歴史に関する物語も多く、化学式を極力減らし平易な表現で書かれているので、化学コースの学生だけでなく、化学が何の役に立っているかわからない学生にもお薦めの一冊である。

図書館利用統計

平成27年度 分類別貸出冊数

分 類	貸出冊数
総 記	461
哲 学	190
歴 史	85
社会科学	546
自然科学	867
工 学	1,139
産 業	37
芸 術	182
語 学	1,353
文 学	1,810
D V D	258
合 計	6,928



平成27年度 分類別貸出ランキング第1位

総記	回数	書 名	著 者 名
	15	C言語プログラミング能力認定試験2級過去問題集 (05-08)	サーティファイ情報処理能力認定委員会
哲学	回数	書 名	著 者 名
	6	「めんどくさい」がなくなる本: 読んだらスッとラクになる	鶴 田 豊 和
歴史	回数	書 名	著 者 名
	7	岩波新書で「戦後」をよむ	小森陽一, 成田龍一, 本田由紀
社会科学	回数	書 名	著 者 名
	16	SPIリアル問題集 2014年度版	新星出版社編集部
自然科学	回数	書 名	著 者 名
	27	編入数学入門: 講義と演習	桜 井 基 晴

工学	回数	書 名	著 者 名
	15	クロソイドポケットブック	日本道路協会
産業	回数	書 名	著 者 名
	3	よくわかるiPhoneアプリ開発の教科書: iOS 5&Xcode 4.2対応版	森 巧 尚
芸術	回数	書 名	著 者 名
	14	いちばんやさしい楽譜の読み方	小 林 一 夫
語学	回数	書 名	著 者 名
	88	TOEICテスト 新公式問題集 Vol. 5	Educational Testing Service
文学	回数	書 名	著 者 名
	15	火花	又 吉 直 樹

図書館からの お知らせ

開館時間

- 平 日 9時～19時 (休業期間中は、9時～17時)
- 土曜日 11時～17時 (休業期間中は、土曜日休館)
- 日曜日・祝日 休館

★図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。
・貸出を希望される場合は、身分証明書(運転免許証など)をご持参ください。

貸出冊数 5冊まで (休業期間中は10冊)

貸出期間 15日間

館内資料の文献複写(著作権法の範囲内での有料複写)や、DVD・ビデオコーナーもご利用になれます。

★詳しくは図書館までお問い合わせください。

TEL 0884-23-7106 **E-mail** tosho@anan-nct.ac.jp

★ホームページにて、蔵書検索や利用案内、図書館開館カレンダーなどご利用いただけます。 **URL** <http://www.anan-nct.ac.jp/library/>

投書箱

図書館では、学生のみならず、皆さんのリクエストを受け付けています。

読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、図書館の投書箱へ投函してください。

